

地域と学校をつなぐコーディネーター等研修講座

昨年度は『地域連携コーディネーター等研修会』として実施していましたが、今年度からは第1回から第3回の研修を基礎編、充実編、発展編とし、受講者の皆様が自らの課題に即して『地域と学校をつなぐコーディネーター等研修講座』として、取り組めるようにしました。

第1回(基礎編)と10月実施の第3回(発展編)はオンライン開催ですので、第2回(充実編)は対面での研修会としました。ここでは、第2回(充実編)での内容等についてご紹介します。

◆第2回(充実編) 第2回(充実編)のねらいは『地域人材、地域資源を学校の教育活動につなげるために必要な知識・技能を学ぶ』です。そこで講師として、尚絅学院大学(しょうけいがくいんだいがく) 教授 松田道雄先生をお迎えし、「学校と等話(とうわ)を核に、教員・子ども・行政・市民・コーディネーターが明日の地域をつくろう!」と題し、講義と演習を通して、多くの学びがありました。

◆『等話(とうわ)』…?? 『等話(とうわ)』。初めて耳にする言葉ではないでしょうか。『等話(とうわ)』とは、読んで字のごとく『平等な会話』のことです。自分だけがたくさん話すことではなく、また声の大きな人が主導権を握るのではなく、だれもが『平等な会話』のことなのです。この『等話』を実現させるには次の5つを日頃の会話の中で心がけていく必要があります。

- 心がけ1 今、目の前の人との出会いに感謝する。
- 心がけ2 お互いの話す時間が平等になるよう、心がける。
- 心がけ3 自己完結せず、短く話して、問いかける。
- 心がけ4 相手の話に耳を傾け、返答し、短く話して、また問いかける。
- 心がけ5 この場で生まれる話を、ともに作ろうと心がける。

日頃の会話を振り返ってみて、皆さんはいくつできていますか?

研修会では、『等話』を意識した演習が行われました。

◆感想で振り返る… 受講者の感想から第2回(充実編)の研修を振り返ってみます。

- ・受講者同士での話し合いが中心に演習が行われ、オンラインの研修がいいと思っていましたが、今回のようにグループや多くの人と話し合いができたので、対面形式もいいと思いました。
- ・初めて顔を合わせたメンバーとも、等話することにより、演習を充実させることができた。
- ・なんとなく出来たらいいなと思っていた事を、人に話すと実現に向かえるのだなと実感できました。
- ・最後に一人一人が思いを述べる機会があってよかったです。グループ内でも多くの思いを述べる事ができました。考えを止めずに、色々な人に話していけたらいいと思いました。
- ・実際に演習を通して、等話の有用性を実感することができた。
- ・幼少期のころの記憶にヒントがあるということ、他にも学んだことを職員に伝えたいと思います。
- ・参加者との等話がほとんどだったので時間があっという間でした。

などの感想から、今回の対面での研修がとても満足のいく研修になったのではないのでしょうか。

新潟県立生涯学習推進センター
問い合わせはこちら TEL:025-284-6110

